

Demo by Mr. Kawamata



2007年9月2日 日曜日、私は光栄にも東京のダイナミックオーディオ 5555、7階川又氏の試聴室を訪れることができました。

試聴室に入った瞬間、部屋に並べられた数多くの最も質の高いハイエンドオーディオ製品に呆然となっていました。そのほとんどのブランドはデンマークのオーディオ市場においては、流通すらしておらず、私にとってラスベガスで行われる CES でしかお目にかかれるものではありませんでした。ご存知のように、そういった場所での大半のデモは本来のクオリティーからかけ離れており、満足のいくデモを体験することは滅多にありません。

私はデモを行なう方法に正誤はないと信じていますが、あえて言うならば結果的に大変すばらしい、良い、又はまあまあというふうに評価できるでしょう。私が世界各地の販売店を訪れた際に体験してきた典型的なデモは良いものでした。よくある‘問題点’はリスナーにそのシステムの鳴り方やこれからかける音楽の聴き方を事前にこと細かく告げてしまうことです。事実、リスナーにそのシステムと音楽を紹介するには効果的な方法なのですが、私にとってそれは1つの大事な物を失わせているのです。それは率直な驚きと感動です。

川又氏が私の滞在中に行なって頂いたデモは数少ない大変すばらしいデモの1つであり、単純になぜかと言うと、そのデモは4つのカテゴリーから入念に選ばれた音楽でシステムの潜在能力とその全ての側面を表現してくれたからです。何の音楽を演奏し、なぜその音楽をかけるのかという直接的な説明はありませんでした。CD のジャケットが私から見える位置に置かれていたので

確認すべきだろうかとも思いましたが……。やはりアーティストや曲などについての説明は特にされることなく、各 CD から少なくとも2曲演奏されました。私はこれらのシステムによって再生された音と音楽を十分に堪能し、すばらしい経験をさせて頂いたと感じました。

8～10 曲程聴いた後、使用したシステムと演奏された音楽についての説明を受け、そして私は、たった今聴いた音についてどう感じたか尋ねられました。私の感想を要約すると、音はハイスピード、ダイナミック、正確そしてとても細部にまでわたっていたということです。多くのスピーカーがかなり近い位置に設置してあったのですが、低域の中に聞き取れる色付けはありませんでした。この部屋はルームトリートメントも充実していたように思います。

それからさらに番外のデモがありました。2つの異なるソースでの比較試聴で、デモというよりむしろそれは私に課せられた分析能力のテストのようでした。そして私はパスしたのではないでしょうか(;)。

このようなデモを経験できて本当に満足でした。私が今まで体験してきたデモと比べても今回のデモは格別で、最も説得力あるものの一つでした。もちろん私が今まで体験してきた他のデモが悪かったわけでは決してありません。しかしながら、川又氏がこのような素晴らしいデモを完成させたのは、長い時間と惜しみない努力によるものだということは明らかです。

最後に私の為に貴重な時間を割いて今回のデモを行なって下さいました川又氏に感謝致します。私は本当に多くのことを学ぶことができました。

敬具

Vitus Audio 社長 Hans-Ole Vitus